

肺結核の早期発見・治療のために

結核を疑うとき

- 咳や痰が2週間以上続く
- 市中肺炎の治療（1週間程度）で改善しない
- 胸部X線検査で空洞を認める等、結核を疑う陰影がある
- 微熱、全身倦怠感、食欲不振、体重減少、胸痛、呼吸困難、血痰等がある

ご注意ください！ 結核と診断された患者の約4割に咳や痰等の呼吸器症状がありません。

結核を疑ったら、
胸部X線検査と喀痰検査をお願いします

診断の流れ

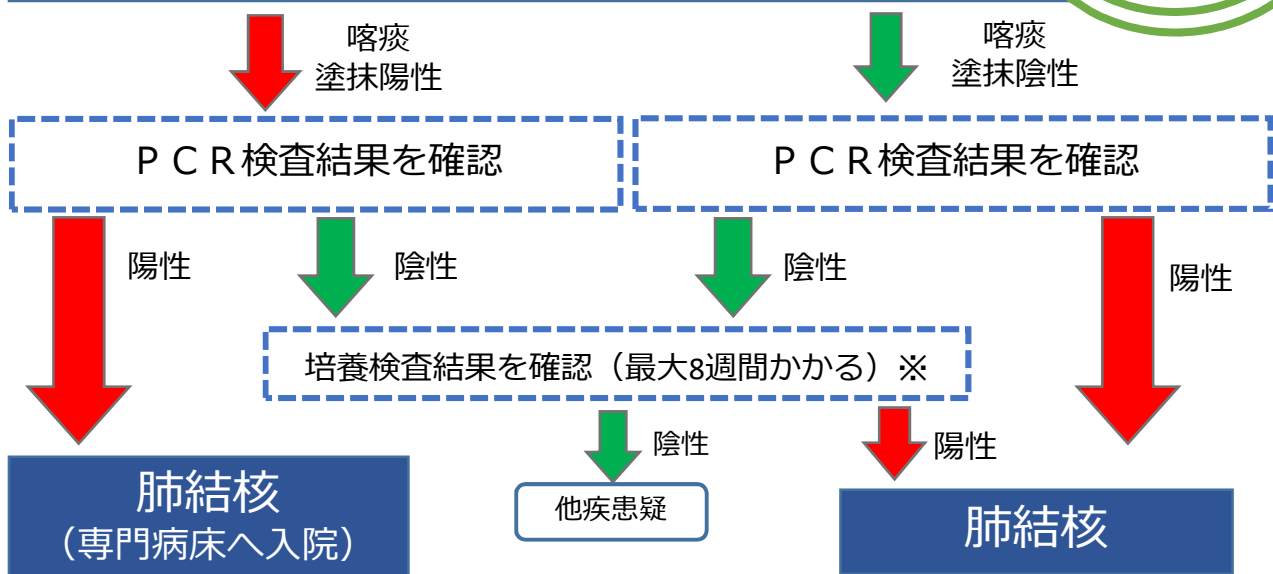
胸部X線検査 陰影あり

※以前の画像と比較読影をお願いします

喀痰検査

日にちを変えて連日3回の検査（抗酸菌塗抹・培養検査）
1回は核酸増幅検査（PCR等）も実施

**連続3回の
喀痰検査**
が必要です！



※胸部CT、気管支鏡検査、IGRA検査などさらに検査を進め、総合的に判断する

診断後は、直ちに発生届を提出してください。

お問合せ・届出は相模原市保健所疾病対策課へ 042-769-7201